

平成29年度青葉小学校 いじめ防止基本方針

青葉小学校では、「いじめは、どの学校でもどの学級でもどの子にも起こり得るものである」という認識のもと、いじめゼロに向けて3つの取り組みを行います。

1 いじめのない、いじめを許さない学校学級を作る取り組み

- ・各学級と学校がいじめゼロ宣言をつくります。（5月）
- ・いじめゼロ集会を開催します。（9月）
- ・情報交換会（毎月1回）を開催し、児童の情報を共有します。
- ・ふわふわポストを設置します。

2 児童・保護者からのSOSをキャッチする取り組み

- ・児童向けの生活アンケート（毎月1回）を実施します。
- ・保護者向けにいじめゼロアンケート（每学期1回）実施します。

3 保護者、地域、学校をつなぐ取り組み

- ・青葉小いじめゼロプロジェクト推進委員会を組織します。
- ・いじめ虐待防止対策委員会を開催し、情報を共有します。
- ・電話連絡や家庭訪問などで、保護者との連携を密に行います。

青葉小いじめゼロ宣言

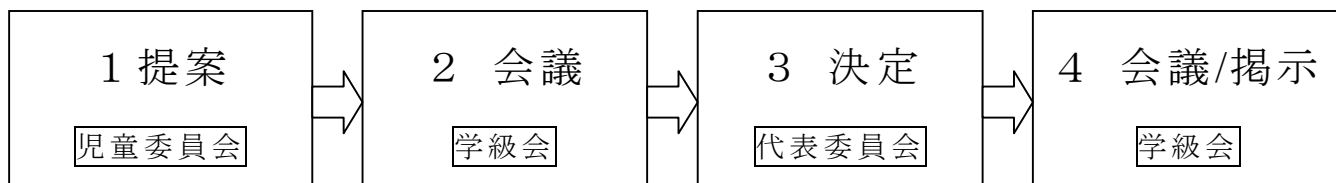
ふわふわ言葉を大切にす青葉っ子になります

1 いじめのない，いじめを許さない

学校学級を作る取組

いじめゼロ宣言（5月）

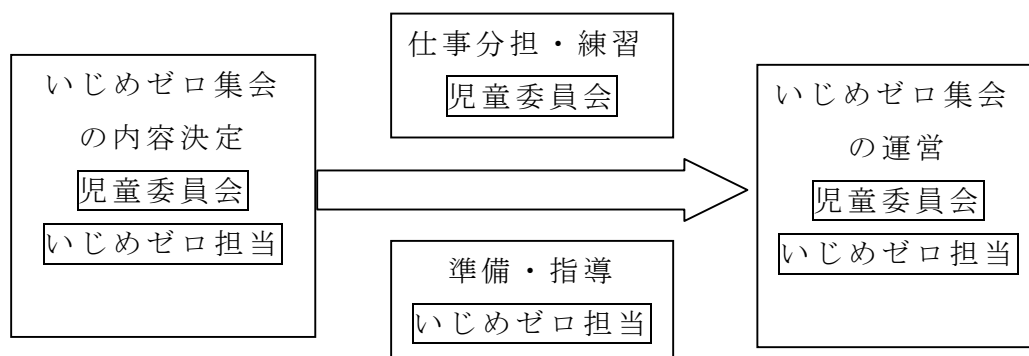
児童にいじめゼロの意識をもたせ、教室や学校全体にいじめを許さないという風土をつくるために、学校と学級のいじめゼロ宣言をつくり、教室に掲示する。



- 1 教師の向付けのもと，児童会で話し合った青葉小いじめゼロ宣言を2つまたは3つほど提案する。
- 2 児童会から提案された青葉小のいじめゼロ宣言の中からふさわしいものを選ぶ。
- 3 各学級で選んだ宣言と意見をもとに，代表委員会で青葉小いじめゼロ宣言を決定する。
- 4 決定した青葉小いじめゼロ宣言を達成するための行動目標（＝学級のいじめゼロ宣言）を各学級で話し合い，教室内と掲示板に掲示する。

いじめゼロ集会（9月）

児童にいじめについて考えさせ，いじめをなくそうとする態度を育てるために，いじめゼロ集会を開催する。

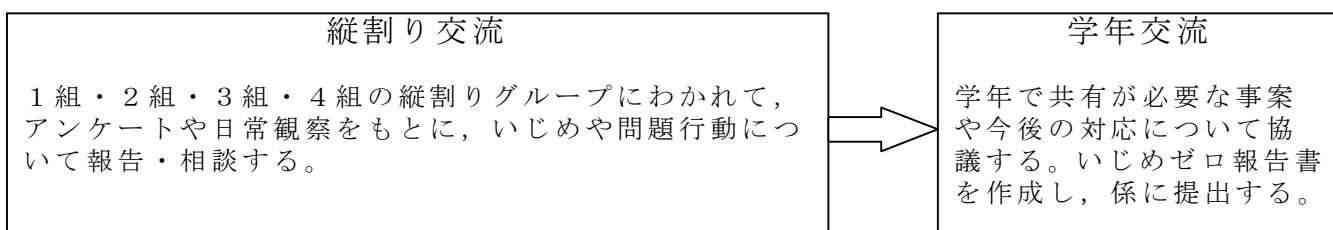


〈昨年度の内容〉

- ふわふわ言葉の紹介（1学期の取組）映像
- 「わたしのいっぽ」をテーマにした児童会による劇
- 学級のいじめゼロ宣言の発表

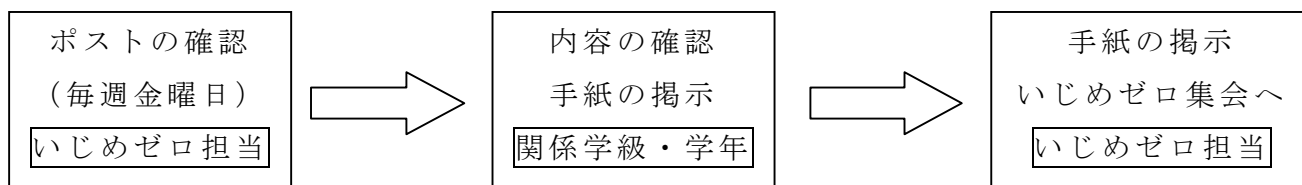
情報交換会（毎月1回）

いじめに関する児童の情報を共有するために、毎月1回、生活アンケートをもとに情報交換会を行う。なお、生徒指導部や人権・特別支援教育部に関する内容もこの情報交換会を共有する。



ふわふわポストの設置

思いやりの心を育て、いじめの芽を摘むために、従来の相談ポストを廃止し、いわれて嬉しかった言葉（ふわふわ言葉）やしてもらって嬉しかったことを書いて入れるポストを設置する。



2 児童・保護者からの SOS をキャッチする取組

児童向けの生活アンケートの実施（毎月1回）

児童に SOS を出すチャンスを与えると共に、実態を把握し、SOSのサインを見つけるために毎月10日の青葉タイムで「生活アンケート」を行う。

(1) 生活アンケートの実施（全校一斉）

8 : 4 0

- ① いじめゼロ担当は、全校に音楽とアナウンスを流す。
- ② 児童は、机を移動する。（テスト席など、見えない座席にする）
- ③ 担任は、アンケートを配布する。（子供に配らせない）
- ④ 児童は、アンケートを記入し、終わったら裏返す。
- ⑤ 担任は、全員終了を確認後、アンケートを回収する。（子供に集めさせない）
- ⑥ いじめゼロ担当は、音楽を止める。

8 : 4 5

児童が安心してアンケートができるように！
全校で取り組んでいるという意識を教師と児童が共有することが大切！

(2) 生活アンケートの集計（エクセル入力）

集計は素早く、前回との比較はじっくりと！
全体の数よりも個の変化に目を向けることが大切！

その日の放課後

- ① 担任は、エクセル集計ソフトを使ってアンケートを集計する。
- ② 担任は、集計したシートを印刷し、ファイルに閉じて保管する。
- ③ 担任は、生活アンケートを機密文書に破棄する。
- ④ 低中高のいじめゼロ担当は、学年の合計を集計ソフトに入力する。

(3) 児童への声かけや継続観察

次の日

- ① 担任は、「いじわるをしている」「いじわるをされている」「先生に相談したい」に「はい」や「すこしはい」と答えた児童に必ず声をかけ、状況を把握する。
- ② 担任や学年の先生は、必要に応じて児童へ指導し、継続して観察する。

(4) 学年や管理職へ報告・相談

「これぐらい大丈夫」ではなく、迅速に状況を把握することが大切！
いじめは「どの学校でも、どの子にも起こりうる。」との危機意識を持ちましょう！

- ① 担任は、児童から聞き取った内容や観察して気付いたことを学年や管理職に報告・相談する。
- ② チームで対応を話し合い、児童への指導及び保護者への連絡を行う。

(5) 情報交換会を使った報告や確認

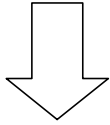
約 1 週間以内に

- ① 生活アンケートのファイルを持って情報交換会に参加する。
- ② 生活アンケートや日常観察をもとに、相談・報告・確認を行う。
- ③ 学年でいじめゼロ報告書に記入していじめゼロ担当に提出する。

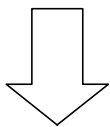
保護者向けのいじめゼロアンケートの実施（毎学期1回）

保護者が見つけた児童のSOSサインを、学校と家庭で共有するために毎学期1回無記名アンケート実施日（6・10・2月）に「いじめゼロアンケート」を配布する。提出するときは、封筒に入れて子供にもたせるようにする。

○いじめゼロアンケートの配布

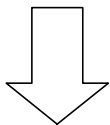


○児童がいじめゼロアンケート（封筒入り）を提出



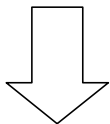
希望者のみいつでも提出できる。
全員回収の必要はない。

○学年や管理職に報告・相談



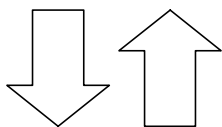
- ・友達が少ないようだ。
- ・物がなくなっている。
- ・あざや傷が多い。など

○関係児童に聞き取り・保護者連絡



- ・担任や学年で
- ・生徒指導部で
- ・教務，教頭で

○情報交換会で共通理解



- ・共通理解をする
- ・誰かの悩みはみんなの問題
- ・いつ どこで だれが
何をした 何をされた

○継続的な指導と保護者への連絡

3 保護者，地域，学校をつなぐ取組

青葉小いじめゼロプロジェクト推進委員会

いじめ防止等の対策のための組織（いじめ防止対策推進法 第22条関係）に準じ、青葉小いじめゼロプロジェクトを推進するために、委員会を組織する。

組織の構成

役職		委員	教務
委員長	校長		生徒指導主任
副委員長	教頭		いじめゼロ担当者（3名）

いじめ虐待防止対策委員会の開催

PTA・地域と連携して、いじめや虐待を防止するために、いじめ虐待防止対策委員会を組織して、校内外の児童の生活について情報を共有し、有事の際はその対策を講じる。

組織の構成

委員会役職	役職名	委員	民生児童委員協議会会長
委員長	校長		民生主任児童委員（2名）
副委員長	PTA会長		保護司代表
	子ども育成連合会会長		スクールサポーター
委員	自治連合協議会会長		教頭
	公民館長		主幹教諭（教務担当）
	青少年育成連合会会長		生徒指導主任
	防犯組合顧問	いじめゼロ主任	

〈定期開催〉… 6月・2月予定

- ① 年度生徒指導計画
- ② 生徒指導報告
- ③ 月例報告から

〈特別臨時開催〉… 事案発生時

- ① いじめの状況を報告し、対策を協議する。
- ② 保護者や地域へ協力依頼を行う。